

隨時監査（工事監査）結果報告書

今 治 市 監 査 委 員

監 第 271 号
令和6年3月26日

今 治 市 長 徳 永 繁 樹 様
今 治 市 議 会 議 長 藤 原 秀 博 様

今治市監査委員 木 原 盛 展
同 渡 部 豊

随時監査（工事監査）の結果報告の提出について

地方自治法第199条第5項の規定に基づき、令和5年度の随時監査（工事監査）を行ったので、その結果に関する報告を同条第9項の規定により次のとおり提出する。

監 査 結 果 報 告 書

(工 事 監 査)

1 監査の対象

- I 国交防自第1号1 北宝来近見線自転車通行空間整備工事（土木）（その2）
- II 環施工第2号 町谷団地跡地整備工事（土木）
- III 今水工配施第20号 山路地区高橋馬越連絡管整備工事（その2）

2 監査の期間及び監査を実施した監査委員

監査の期間	監査を実施した監査委員
令和6年1月15日～令和6年2月20日	木原盛展・平田秀夫
令和6年2月20日～令和6年3月25日	木原盛展・渡部豊

3 監査の実施要領

監査対象として、抽出により上記工事の監査を実施した。当監査は、あらかじめ対象工事の担当部局から設計図書等、工事関係書類の提出を求め審査するとともに、現場調査を行い、その施工状況の実態を把握しながら実施したものである。

なお、当監査の実施にあたっては、協同組合 総合技術士連合へ技術士による調査を依頼し、技術上の意見を参考として取り入れた。

4 監査の結果

対象工事の書類及び現場を監査した結果、概ね良好と認められた。なお、工事別の所見は次のとおりである。

5 個別工事についての所見

- I 国交防自第1号1 北宝来近見線自転車通行空間整備工事（土木）（その2）

(1) 工事の概要

ア 工事場所

今治市石井町一丁目外

イ 請負金額

82,390,000 円

ウ 請負業者

桜井工業株式会社

エ 工期

令和5年9月19日～令和6年3月15日

オ 主管課（工事担当課）

建設部 建設政策局 道路課

カ 工事概要

- ・土工 一式
- ・排水工 L=648m
- ・舗装工 A=3,960 m²
- ・区画線工 一式
- ・雑工 一式

（2）書類調査における所見

計画、設計、積算、契約に関わる工事着手前の書類及び施工管理、安全・環境管理に関わる工事着手後の書類について調査を行った結果、概ね適切に書類が作成され、工事施工がなされていることが認められた。

（3）現場施工状況調査における所見

工事の進捗が計画より遅れている理由として、排水側溝であるコンクリート二次製品の納入に不測の日数を要したため、今後の工事の進捗は見込めるものの工期変更の予定があるが、概ね適切な工事施工がなされていることが認められた。

以下に、個々の現場施工状況調査結果を示す。

（意見）

ア 工程管理について

工程管理は計画工程表に基づいて実施されているが、工事の進捗の遅れは使用する工場製作のプレキャスト NK スリット側溝が隣接工事においても使用されているため、工場製作が重複することにより現場への納入遅れに繋がっている。今後の作業工程として、側溝の現場への納入後は工事の進捗が見込めるものの、契約工程までに工事の完成は難しい状況となっている。

このため工期延長の有無や工期変更契約を実施するためには、上記材料の確実な納入時期、今後の施工区間の作業工程等を総合的に考慮して、工事終了までに必要な作業工程の見直し検討を早急に行い、対応方法を決定していくことを要望する。

Ⅱ 環施工第2号 町谷団地跡地整備工事（土木）

（1）工事の概要

ア 工事場所

今治市町谷

イ 請負金額

71,445,000 円

ウ 請負業者

四国通建株式会社

エ 工期

令和5年8月4日～令和6年3月15日

オ 主管課

市民環境部 市民環境政策局 環境施設課

カ 工事概要

- ・土工 一式
- ・排水工
 - L-1 型側溝 L=352m 、 L-2 型側溝 L=105m 、 4号雨水桝 N=26 か所
 - VUφ600 L=117m 、 VUφ500 L=121m 、 PRPφ300 L=40m
 - PRPφ250 L=63m 、 組立式1号マンホール N=5 基
 - 組立式2号マンホール N=5 基
- ・舗装工
 - 上層路盤工 A=1,446 m² 、 仮舗装工 A=637 m²

（2）書類調査における所見

計画、設計、積算、契約に関わる工事着手前の書類及び施工管理、安全・環境管理に関わる工事着手後の書類について調査を行った結果、概ね適切に書類が作成され、工事施工がなされていることが認められた。

（3）現場施工状況調査における所見

現場確認を行った結果、概ね適切な工事施工がなされていることが認められた。
以下に、個々の現場施工状況調査結果を示す。

（指摘）

ア 安全衛生管理・環境配慮について

安全衛生看板の掲示は、事務所前の事業場の見やすい位置に建設業許可証、施工体系図、緊急時連絡表、作業主任者表示、有資格者一覧表等の掲示状況を確認した。このうち建設業許可証と施工体系図は敷地内の市道が外周に切替えられているため、公衆の見やすい場所への設置変更をされたい。

Ⅲ 今水工配施第20号 山路地区高橋馬越連絡管整備工事（その2）

（1）工事の概要

ア 工事場所

今治市山路

イ 請負金額

71,534,650 円

ウ 請負業者

株式会社近藤工業所

エ 工期

令和5年9月11日～令和6年3月15日

オ 主管課（工事担当課）

上下水道部 上下水道政策局 水道総務課（水道工務課）

カ 工事概要

- ・施工延長 L=272.0m
- ・DGXφ450 L=272.4m

（2）書類調査における所見

計画、設計、積算、契約に関わる工事着手前の書類及び施工管理、安全・環境管理に関わる工事着手後の書類について調査を行った結果、概ね適切に書類が作成され、工事施工がなされていることが認められた。

（3）現場施工状況調査における所見

工事の進捗が計画より遅れている理由として、受注生産である耐震型ダクトイル鑄鉄管（φ450mm）の納入に不測の日数を要したため、今後の工事の進捗は見込めるものの国道歩道下での作業時期の制限もあるため、工期内の工事完了は難しい状況となっており、工期変更の予定があるが、概ね適切な工事施工がなされていることが認められた。

以下に、個々の現場施工状況調査結果を示す。

（意見）

ア 工程管理について

工事進捗率（令和6年1月16日現在）は、計画80%に対して実施30%となっている。

この理由として耐震型ダクトイル鑄鉄管（φ450mm）は受注生産であり、管口径も汎用径ではないため在庫ストックもなく、工場生産に時間を要したため、結果として工事の進捗に影響を及ぼしている状況となっている。

今後の作業工程は歩道部における施工となり工事の進捗は見込めるものの、国道歩道下での作業時期の制限もあるため、工期内の工事完了は難しい状況となっている。

工期延長の有無や工期延長のためには、配管材料の確実な納入、未施工区間の作業工程、歩道部の作業制限時期等を総合的に考慮して、工事終了までの詳細作業工程を早急に検討していく必要がある。

イ 安全衛生管理・環境配慮について

掘削作業にあたっては地山掘削作業主任者、土止め支保工作業主任者が選任されており、土留工及び支保工を設置して地山の点検・確認を行いながら作業が実施されている。

今後の連絡管布設作業は歩道部の狭い場所に移るため、一般歩行者の通行の安全を確保しながらの作業となる。この工事中の歩行者と作業重機との接触事故防止対策として、仮歩道（B=1.35m）の設置、仮囲い、各種安全標識の設置、交通監視員の配置による作業重機の一時中断等の安全対策が計画されている。これらに加えて作業員及び交通監視員のコミュニケーションを充実させ、声掛け等による連携により歩行者に対する確実な安全管理の実施を要望する。